

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域密着型サービスの役割や一人ひとりに合った介護を実現するために考えられた理念を朝礼の際に唱和することで共有し、実践に繋げている。また、IDカードにも明記されている。			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input checked="" type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響により、外部団体との交流や地域行事が中止となることが多く、また、持ち込まないという考えから地域との交流を持つことが難しい状況でした。	コロナの対応については、周りの状況とご入居者様への影響を加味しながら、徐々に外部団体との交流や地域行事への参加が出来るようになることを望んでいる。		
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍により、運営推進会議は書面での開催となっており、報告は行っているが各福祉関係者や関係各所の方々が一室に会える機会が途絶えている。	コロナの対応については、周りの状況とご入居者様への影響を加味しながら、直接、報告や話し合いが行われサービス向上に活かせるものとして実施していきたい。		
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input checked="" type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	市担当者とは、電話にて不明点、疑問点等について確認し、アドバイスを頂いている。	継続的に、市担当者とは連絡を取り、サービスが正しく行われ、ご入居者様のより良い暮らしが継続できるように協力関係を築いていくことに努める。		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	身体拘束廃止に関する指針の整備や定期的な研修、チェックシートを元に身体拘束廃止委員会を実施し、身体拘束の意味と弊害について理解を深め、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない		
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	社内研修を定期的に行い、繰り返し理解を深める機会を設けている。また、身体拘束廃止と同様にチェックシートにて定期的な廃止委員会を開催し、スタッフ全員で話し合いを行いホーム全体で共有している。また、気	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない		



				になることは伝ええるように努めている。			
7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	人権啓発など定期的な研修の実施している。受講で必要時援助が出来る知識を得ている。また、制度を利用されている方もおり、関係者と話す機会もある。			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	契約等に関する説明は管理者が対応しており、十分に説明を行い、ご理解・ご納得を頂いている。また、不明点等があった時はいつでも聞いて頂けるようお伝えしている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	カンファレンスや面会、電話連絡時等にご意見やご要望を伺い反映に努めている。コロナ禍以前は運営推進会議でも伺う場を設けていた。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響により、制限されることがあったかと思いますが、ご意見・ご要望を今後も反映に努めホームの活動に活かして下さい。	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	アンケートの実施や年4回定期面談やホーム会議・ユニット会議他日常的に聞く機会や話しやすい関係づくりに努めている。また、意見や提案について考慮している。			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期面談時にスタッフ各々の目標や悩みを聞く機会を設け、アドバイスをを行っている。また、資格取得制度やキャリアパス制度等職場環境・条件の整備に努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない		
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍で外部研修には参加出来ないが、ホーム内研修は毎月開催されている。また、初任者研修、実務者研修等は働きながら取得できるようになっている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない		
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サ	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	オンラインでの勉強会や自社他ホームで行われているケアについて、事例検討会等で互いに知る機会が設			

		サービスの質を向上させていく取り組みをしている		けられ、サービスの質の向上への刺激になっている。			
14	本人と共に過ごし 支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご入居者様は人生の大先輩であり、介護を受けなくてはならない状況であつても教えられることは多々あり、共に暮らし支え合う関係として支援させて頂いている。			
15	馴染みの人や場との 関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍により、外出や外部との交流の機会は減ったが、面会については感染防止に注意しながら可能な限り継続できるように努めている。電話やご様子をお伝えする毎月のお便り等で状況をお伝えしながら関係性が継続できるように努めている。	地域の感染状況によって面会を制限せざるを得ない時もあつたが、オンラインや窓越し、ビニールカーテン越しなど工夫をしながら、馴染みの人との関係が途切れないように努めた。		
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご家族様からの情報やご本人との日常の会話を通して思いやご希望・ご意向の把握に努めている。			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	課題やケアのあり方について、ご本人を取り巻く関係者に情報提供し現状把握を行い、ご本人がより良く暮らすために、ご希望を取り入れながら介護計画の作成に努めている。	その時々の変化を察知できるように、日常のご様子の把握に努めると共に、変化に対応出来る体制作りを心掛けている。また、ご家族からもご希望やご意向を忌憚なく伝えて頂けるように努めている。	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	モニタリングの活用や日々の記録や変化などを詳しく記載し、情報共有がしっかり行えるように努めています。また、共有した情報について工夫をしながら実践を繰り返すことで、介護計画の見直しに活かしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご入居者様の小さな変化にも気付けるように日常の様子や情報共有に努めている。ご家族様の状況等にも配慮し、場合によっては通院対応や送	日常の情報共有の重要性は理解できている。スタッフ間で情報共有がスムーズに行えるように方法に改善が必要な時は、必要に応じて対応し取り組んでいる。		

				迎を行い、柔軟に対応することに努めている。			
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響により、現在は自粛しているが、行事などを通じて地域との関りを持てるようにしていた。	現在は自粛しているが、周りの状況や対応、ご入居者様の体調等を加味しながら、地域資源を活用しながら、暮らしが豊かになるような支援を行いたい。		
21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	月に2回の往診の他、休日や夜間であっても往診先と連絡を取り指示を受けられる体制となっている。必要に応じて往診先の系列病院等へ検査等に行っている。また、薬局の薬剤師とも連携し、薬について確認出来る体制となっている。			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	入院先へ情報提供を行っている。早期退院へ向けて、管理者を中心としてご家族様やMSWにご本人の現状や治療等について定期的に連絡を取り合い、情報交換や関係づくりを行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご家族様に終末期に関する考えを伺い、「重度化に対する意向の確認書」を取り交わしたり、往診先とご家族に同席頂き、看取りについて段階的に確認を行う場合もある。心身の状況の変化に応じて介護計画の見直しを行い、ご本人やご家族様にとってホームで出来るより良い終末期を迎えられるように支援に努めます。		<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	その方にとってより良い終末期を迎えて頂けるように、チーム支援で出来ることを考えて、支援に努めて頂ければと思います。
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	定期的に研修やマニュアル確認を実施し、知識・理解を深めて実践に結びつけることに努めている。コロナが落ち着いた際には、救命救急講習受講の実施を考える。			

25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	火災避難訓練は年2回行っている。その他の災害についてはハザードマップを確認し、ホームの災害発生時に備えている。地域との協力体制はコロナ禍で出来ておらず、築くために何が出来るのかを考えていきたい。	ハザードマップにより、ホームの災害予測程度を知り、災害発生に備えることや、物品等の確認もいざという時の為に定期的に行うように努めたい。地域との協力体制については、スタッフみんな考えていく。	<input type="radio"/> A. 充分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	地域との共生による協力体制を作る上で、交流の機会を利用する等、身近なところから行ってみたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	これまで人生経験を積み上げて来られたご入居者に尊敬の念を持ち、一人ひとりに合った心地よいと感じて頂けるような声掛けを、スタッフ間で情報共有し支援に活かしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常生活の中で、ご希望やご意向を伺う機会を作り、思いを汲み取りご本人のペースで生活が出来るように努めている。また、環境改善にも努めている。			
28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	味付けや調味料を工夫したり、四季折々の行事に合わせて、食事を楽しんで頂けるようにしている。また、それぞれの出来る事を見極めながら、おしほりたみや下膳等可能な限り参加出来るように努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	食事の摂食状況や水分量は電子記録を活かして、すぐに確認出来るようになっており、水分量は確認しながら提供している。また、一人ひとりの状態に応じ、食事形態など変更しながら確保できるように支援している。			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	歯科往診にて指導を受け、一人ひとりに合った方法で毎食後の口腔ケアをしている。可能な限り、スタッフによる仕上げ磨きも行っている。		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	排泄間隔を確認し誘導時間や介助方法を検討したり、食事前後に誘導や声掛けを行い排泄リズムを作りながら、自立に向けた取り組みを行っている。便秘予防については、本人		<input checked="" type="radio"/> A. 充分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

				のパターンを知ったうえで医師に相談しながら取り組んでいる。			
32	入浴を楽しむことができる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日程は組んでいるが、体調やご希望を考慮しながら、ペースに合わせ入浴を楽しんで頂いている。			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりの体力や生活リズムに合わせて休息して頂き、安心して気持ちよく眠れるように、湿度や室温、寝具等に考慮している。			
34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	薬の変更等がある時は、スタッフは全員で確認し、個人でも薬情報ファイルを利用して、薬の作用、副作用、用法、用量などを確認している。また、症状の変化については医師、薬剤師に的確に伝え情報共有し相談している。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	カルタやカラオケ、塗り絵やボール遊び等の全体レク以外にも個別のレクも行っている。また、一人ひとりの能力に合わせ、出来る事・出来そうな事で役割を持って頂き、張り合いや自信への支援にも努めている。	ご入居者様の変化やその時々状態に合わせたレクリエーションの組み立てや役割を柔軟に考えられるように、一人ひとりと向き合い張り合いや喜びに繋がる支援に活かせるようにする。		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響もあり、敷地外への外出支援は出来ていなかったが、敷地内での散歩は積極的に支援していた。	敷地外への外出は自粛していたが、自粛が明けたら、外出が出来るように準備や予定を考えながら取り組んで行きたいと考えている。		
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	基本的に金銭管理は事務所にて行っているが、ご本人のご希望や必要に応じて使用している。使用の際は帳簿に付け、ご家族等に毎月確認して頂いている。金銭所持については、紛失する可能性もあるためご家			

				族の許可を頂き少額であれば可能としている。			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	ご家族様や友人等から届いた年賀状には、出来る限り毎年直筆で一言添えて送付している。また、電話のやり取りもご本人が気兼ねなく話せるように配慮し、ご家族様や大切な人との時間を持つように支援している。			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日常の様子や行事の写真の掲示、季節に応じた掲示物で四季を感じて頂ける空間づくりを心掛けています。また、採光や室温、湿度等にも配慮し、居心地よく過ごして頂けるようにしている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	
IV. 本人の暮らしの状況把握・確認項目（利用者一人ひとりの確認項目）							
40	本人主体の暮らし	本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	一人ひとりとコミュニケーションを取りながら、ご本人の気持ちを伺ったり、日常の言動の中から思いを引き出しながら、ケアにあたることを心掛けている。			
41		本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input type="radio"/> A. 十分にできている <input checked="" type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	日々の関りやアセスメント、フェイスシートを活用し生活歴等を知り、情報を元に支援に努めている。新しく知り得た情報は、スタッフ間で共有している。			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができている	<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	毎朝のバイタル測定、日々の様子や変化等を把握し、状況に合わせたケアや支援に努めている。		<input checked="" type="radio"/> A. 十分にできている <input type="radio"/> B. ほぼできている <input type="radio"/> C. あまりできていない <input type="radio"/> D. ほとんどできていない	

43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	全てをこれまでの暮らしの習慣にというのは難しい面があるが、出来る限り一人ひとりのペースやその方が大切にされてきたことに寄り添うケアに努めている。			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご入居時には、使い慣れた物や思い出の品を持ってきて頂くようお願いしている。ご入居後も必要に応じて都度お願いをしている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の為、敷地内の散歩、お花のお世話等は出来ていたが、地域への外出や行事参加は自粛している。	地域に出掛けたり、催事に参加することは自粛により叶えられませんでした。スタッフは屋内で出来る行事を工夫したり、アイデアを出し合いご入居者様に楽しんで頂くことに努めていた。		
46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	ご本人の好きな事、興味のある事、出来る事、出来そうな事を毎日の生活の中で情報収集し、スタッフ間で共有しケアに取り入れている。出来る方法を考え環境作りに努めている。			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	リビングの座席は気の合う方同士にする事で、会話が弾み笑顔が多く見られている。また、その時々状況や場面に応じて自由に移動して頂けるようにしている。得意なことを他入居者様に教えたり、一緒に行ったりする場面もある。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入居者様の日常の情報共有の重要性を理解され、ひとり一人とコミュニケーションを取り、本人の持てる力を活用しながら支援されていると思います。
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響で地域の方々との交流は出来ていないが、その分、他フロアーとの交流の機会を設けるなどの工夫をしている。	近隣や地域の人々と関わる事は自粛により出来なかったが、スタッフは屋内で出来る行事を工夫したり、アイデアを出し合い、ユニット合同での行事でご入居者様に楽しんで頂くことに努めていた。		
49	総合	本人は、このGHにいて、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナ禍の影響で地域の人々との交流は出来ていませんが、毎日、スタッフと共に笑顔の場面も多く、体調の変化にも医療関係者と連携を図り、一人ひとりがより良い日々を送ることが出来るよう努めている。	コロナ禍以前は地域との交流も行って来た。状況が落ち着き、再び交流が出来る事になった時には地域の中で過ごす機会を増やせるようにしたい。その時まで、健康で楽しく安心して暮らして頂けるように、ご入居者様と向き合いながら支援していきたい。	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	コロナの状況を見ながら、地域との交流の機会を作り、入居者様の楽しみを持つ機会を作って頂きたいと思います。